

## 令和元年度山形県食品安全モニター及び適正表示ボランティア活動実績

令和元年7月より、食品安全モニター27名(内1名は途中辞退)、適正表示ボランティア23名が活動を行い、県内の食品販売店の表示の状況についてモニタリングしていただきました。10ヶ月間の活動の実績は次のとおりです。

(参考) 令和元年度食品安全モニター 委嘱者数 27名(内1名は途中辞退)  
 令和元年度適正表示ボランティア 登録者数 23名  
 委嘱期間 令和元年7月から令和2年2月まで

報告月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
うちモニター		27	26	26	26	26	26	26	26	209名
うちボランティア		0	0	1	0	0	1	0	0	2名
訪問店舗数		87	81	84	86	81	80	84	83	666店舗
指摘店舗数		15	10	6	6	6	7	3	8	61店舗
指摘品目数		18	16	15	6	7	11	3	11	87品目
指摘品目の 内 訳	農産物	15	6	10	6	5	8	2	7	59品目
	畜産物	0	0	4	0	1	0	0	0	5品目
	水産物	3	4	1	0	1	0	0	1	10品目
	その他	0	6	0	0	0	3	1	3	13品目
不適正表示確認店舗数		13	5	6	3	4	7	3	5	46店舗
不適正表示確認品目数		15	6	11	3	5	9	3	8	60品目

不適正表示確認店舗数・・・県がモニター及びボランティアからの報告を受けて店舗を訪問した際に、報告どおりの不適正表示が確認された店舗の件数

不適正表示確認品目数・・・報告どおりの不適正表示が確認された食品の件数

### ◆モニター及びボランティアからの報告に基づき指導を行った主な事例

モニター及びボランティアから毎月の報告に対し調査を行ったところ、指摘どおりの不適正表示が46店舗で60品目確認され、適正な表示を行うよう指導しました。

なお、主な事例は次のようなものでした。

- ・刺身用(生食用)である場合はその旨を適切に表示するよう指導した。
- ・地元農家が生産しているコーナーの農産物に名称・原産地の記載がないため、適切に表示するよう指導した。
- ・農産物に「国産」の表示しかされていなかったため、「都道府県名」の表示をするよう指導した。